

倫理審査委員会(迅速審査)議事録

- 1 日 時 平成30年1月5日(金) 16時～
 2 場 所 小会議室
 3 委 員 副院長、内科部長、看護部長、企画課長

審 議 No.	研究課題名及び審議事項並びに判定
30	筋萎縮性側索硬化症の発症・進行・予後に関する因子の検索:JaCALS(Japanese Consortium Amyotrophic Lateral Sclerosis Research)研究 ・前回、倫理的には問題はないが、迅速審査の是非で合意が得られず保留となっていたもの。 → 名古屋大学の倫理審査状況並びに日本消化器病学会のガイドラインを参考にした結果、迅速審査で問題ない。 ※承認
31	新人診療放射線科技師プログラムのためのワンポイント症例集作成について ・研究の目的について → 新人教育のため、完全匿名化した放射線診断医レポートを症例別にデータベース化して使用するもの。 → データベース化のルールもアンケートと一緒に考える必要あり。 ・倫理的には問題なし。 ※承認
32	インフルエンザアウトブレイク時の抗インフルエンザ薬予防投与に対する事前同意書の作成と運用(その2:キーパーソンの反応) ・アンケートの回答者(キーパーソン)が記名することについて → 研究の成果を得るためには記名が必要。 → アンケートに協力してもらったことで同意があったと考える。 → 記名をしてもらうのであれば回答は任意であることと回答しなくても不利益はないことを記載することが必要。 → 上記アンケート内容の修正についてはこの場では結論が出せない。 以上のとおり、アンケートの内容について委員の合意が得られなかった。 ※継続審査
33	看護師サイドから見る脳深部刺激術の周術期管理 ・研究の目的等について → 脳深部刺激術後せん妄により困難を呈した事例検討で1～2例の少数症例報告。 ※非該当
34	遠隔診療に対するアンケート調査 ・研究の目的について → 脳深部刺激術患者の遠隔診療の実証実験の終了に伴うアンケート調査。 ・倫理的には問題なし。 ※承認
35	入院時の栄養障害、特に低リン血症の頻度、およびrefeeding症候群の予防と治療 ・研究の目的について → 慢性病態でのrefeeding症候群(RFS)の頻度や病態の解明。 ・研究の対象について → 内科へ新規に入院されてくる患者(期間をあげた再入院を含む。) ・倫理的の問題なし。 ※承認

- 5 その他・H29.7.26に開催された倫理審査委員会(迅速審査)で条件付承認となった3題、再提出4題の審議がされていないので、1月16日(火)午後4時から倫理審査委員会(迅速審査)を開催したい。
 → 承認
 ・倫理審査委員会(迅速審査)を毎月の定例としたい。案件がない場合は休会とする。日時については1月16日(火)の委員会で検討する。